

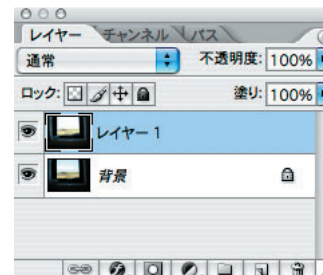
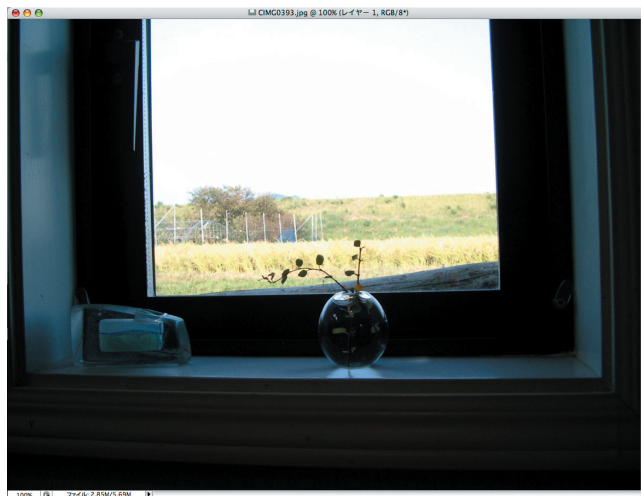
6-17 合成テクの便利ワザ

先に画像合成のテクニックを紹介したが、レイヤーを使った合成はなにも異なる画像を重ねるだけではない。まったく同じで露出だけが異なる2枚の画像を重ねれば、部分的な補正が簡単に実現できる。

露出だけが異なる2枚の画像を使った部分補正



① 同じコマを設定を変えてスキャンした2つの画像を用意する。

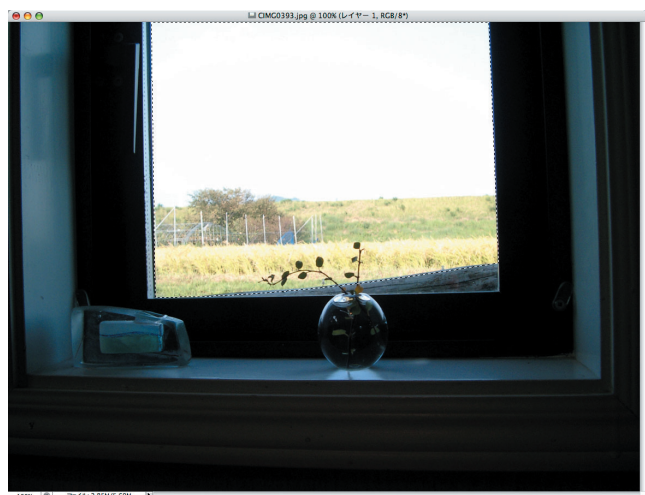



② BをAの上に重ねよう。まずBの画像をメニューバーの[選択範囲]→[すべてを選択]をクリックして全体を選択する。次に、これをメニューバーの[編集]→[コピー]でクリップボードにコピーする。Aの画像に切り替え、メニューバーの[編集]→[ペースト]をクリックすると、Aの上にBが「レイヤー 1」として重なる。

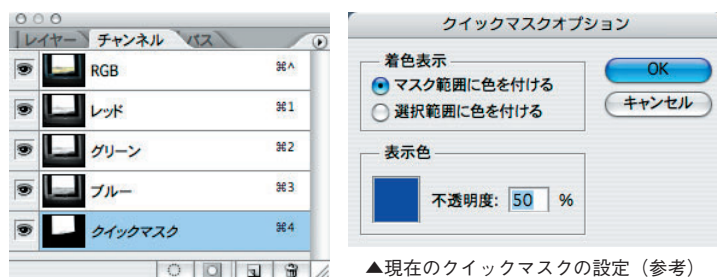
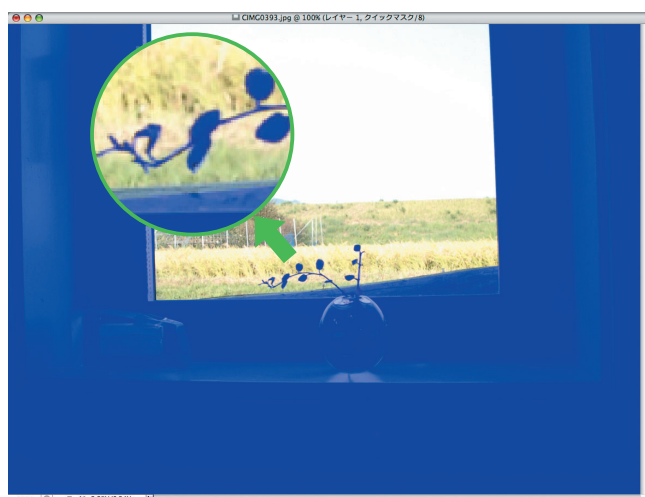



③ 見た目には、上に重ねられたBの画像しか見えない。しかし、レイヤーパレットでBの画像を表示した「レイヤー 1」を選択し、空の部分を[消しゴム]ツールで消してみると、背景画像のAの空が見えるのが分かる（画面拡大）。

次ページへ続く →



④ Bの屋外風景をすべて消す。このまま「消しゴム」ツールで全部消すのは大変なのでクイックマスクを使う。まず画像描画モードで、窓枠を（「多角形選択」ツール）で囲む。窓枠下の枝葉は無視してよい。



⑤ クイックマスクモードに切り替える。複雑な形の花瓶の枝葉は（「ブラシ」ツール）を使ってクイックマスクを作る。ブラシの硬さや透明度をうまく調整すれば、地面も空もディテールが再現された画像が出来上がる。画像を部分拡大し、AとBとの境界線をうまく処理するのがコツだ。



Aの窓外の景色+Bの屋内を合成

⑥ 画像描画モードに切り替え、選択範囲（屋外風景）を一気に削除する（メニューバーの「編集」→「消去」をクリックする。またはキーボードの「delete」キーを押す）。これで窓外、屋内どちらも表現できた。デジカメの場合は、三脚に固定したカメラで露出を変えて撮影すれば、これと同じことができる。